

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年4月26日

2005年4月24日概況：

4月24日に終わる週の州平均農作業稼働日数は6.3日であった。気温が上がり、殆ど降雨が無かったことより、全州にて春の農作業が開始された。平均気温はWC地区で平年を1度F上回った程度であったが、他の地区では4~7度F程上回った。降雨はSW、SC並びにNE地区で見られたのみで、他の地区では降雨は記録されなかった。土壌水分は前週より多少落ちた。

HRSは29%の圃場にて播種され、Durum小麦は15%が播種された。昨年より多少遅い進捗であるが、5年平均より早い進捗であった。

小麦生育状況：2005年4月24日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Planted (%)	15	5	21	10
Emerged (%)	2	NA	2	1
HRS Wheat				
Planted (%)	29	11	30	17
Emerged (%)	3	NA	5	2

土壌水分：2005年4月24日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	7	7	8	4
Short (%)	26	21	22	16
Adequate (%)	64	67	64	69
Surplus (%)	3	5	6	11
Subsoil				
Very short (%)	13	11	11	7
Short (%)	23	24	29	20
Adequate (%)	60	60	57	65
Surplus (%)	4	5	3	8

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年：1,750,000エーカー)であった。

全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com